

ごあいさつ



経営管理委員会会長 萬 歳 章 代表理事理事長 石橋 文夫

皆さまには、日頃より、新潟県信用農業協同組合連合会（JAバンク新潟県信連）に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は、昭和23年の創立以来、「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合精神の基本理念に基づき、豊かな「農業」と「暮らし」を金融面からサポートしてまいりました。このたび、当会の事業・経営について一層のご理解をいただくため、平成24年度の業績や活動内容をまとめたディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ぜひご高覧いただき、当会へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

平成24年度のがわが国経済は、震災からの復興需要や政策効果による景気下支えがあったものの、海外経済の減速や円高定着の影響等から総じて弱い動きとなりましたが、年度末にかけては、政権交代に伴い、デフレ脱却や景気浮揚への期待感が高まりました。

このような状況のもと、JAバンク新潟（信用事業を行っている県下のJAと当会を併せた総称です）では、農業メインバンク・生活メインバンク機能の確立や取引深耕・地域シェアのアップ等に取り組み、個人貯金2兆円運動の目標を達成する等、一定の成果を上げることができました。

平成25年度は、JAバンク新潟の中期戦略および当会の第15次中期経営計画の初年度となりますが、「食と農、地域社会に貢献し、確固たる存在感を発揮し続けるJAバンク」の実現」という基本目標の達成に向け、JAバンク新潟の県域本部としてさらなる機能発揮に努めるとともに、経営管理態勢の強化等に取り組み、組合員をはじめ地域の皆さまからの期待と信頼に応えてまいり所存ですので、今後ともより一層のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成25年7月

新潟県信用農業協同組合連合会

経営管理委員会会長 萬 歳 章
代表理事理事長 石橋 文夫